

令和5年度

板野南小学校 「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 話す・聞く、書く、読む力を高める。(目的意識を持ち、筋道を立てて自分の考えを伝える。)
- 主体的に学習に取り組むことができる児童の育成。

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	・教頭 平尾恭子	・教務主任 三原弘美
		・特別支援教育コーディネーター 寒川かおり、久米慶季	・研修主任 寒川かおり
		・人権教育主事 久米慶季	

校長

吉野 育也

【小中連携または中高連携における共通の取組】

学んだ力を発揮する機会や必要性を確保する。

【各校の取組状況の把握について】

研修の機会を生かして、取組み状況について報告する場をもつ。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題や決まった課題にまじめに取り組める児童が多い。 ●語彙力が不足し、文章を正確に読み取ったり、身に付けた知識等を関連付け文章を書いたりすることに課題がある。	・基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができる。 ・語彙数が増え、目的に応じて、文章の内容や意図を正確に読み取ることができる。	・漢字・計算の反復練習をし、定期的に確認テストをする。 ・国語辞典やタブレットを効果的に活用し、語彙力を高める。(3年生以上) ・大切な言葉にラインを引かせることで、文章を読み取る手がかりとさせる。	・字数制限や条件提示をして、自分の考えを文章にまとめる場面を設定する。	・ホワイトボードやタブレットを活用しての反復練習や確認テストを行うことで、漢字・計算の知識・技能が定着してきたが、時間が経つと忘れてしまう児童がいる。 ・国語辞典を身近に使う児童の割合が増え、少しずつ語彙力が高まってきたが、活用力の向上には至っていない。 ・大切な言葉にラインを引いたり言葉を囲んだりすることで、文章の内容や意図を読み解く力がついてきた。 ・自分が見つけた大切な言葉を要約するときの手がかりにして、文章にまとめることができるようになってきた。	・時間が経っても覚えたことを忘れず、確実に定着できるような手立てを考える。 ・国語辞典を引くときに、例文も必ず意識させる。 ・文章を正確に読み取り、更に自分の身につけた知識と関連付けて文章に書けるようにさせたい。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○ハンドサインを使って意思表示ができる児童は増えてきている。 ●自分の考えを筋道立てて説明する力が不足している。 ●一人一人の考えはあるようだが、グループ活動になると、友達の意見を聞いて考えをまとめたり修正したり新しい考えを生み出したりすることに課題がある。	・自分の考えを根拠を明らかにして説明することができる。 ・自分の意見を持つと共に、対話を通して、相手と交流することができる。	・スピーチの時間を設け、文の構成や話し方の話型を意識させる。 ・ペアやグループ活動など様々な学習で、ねらいを明確にした対話の場面を設定する。		・各学年、スピーチの時間を設定し、条件をつけながらスピーチができた。文の構成や話形を知るよい機会となった。 ・ペアやグループの活動では、自分の考えを友達と伝え合うことができた。	・タブレットの写真機能や表現ツール(パワーポイント的な)を活用することで、更に根拠を明らかにした説明ができるようにさせたい。 ・今年度の取り組みを根気強く続け、全体の場でも話し合いが深まるような工夫をする。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○最後まであきらめずに、学習に前向きに取り組む児童が多い。 ●自ら課題や問題点を見つけたり、考えたりしようとする意識が低い。	・めあてを持って学習に取り組み、自分の学習の状況をしっかりと振り返ることができる。	・めあてを意識した振り返りの時間を設け、振り返りの視点を提示する。(振り返りカードを活用)		・振り返りの時に、キーワードを伝えたり振り返りの視点を提示したりすることで、めあてを意識した内容が書けるようになってきた。	・引き続き、振り返りの視点を明確にさせ、学習の調整力を身につけさせたい。 ・自分の学習の状況をしっかりと見つけ振り返るという点から、家庭学習についての見直しが今後必要である。

令和5年度 学力向上ロードマップ

